

中学数学 2	年 組 番
6 章 確率	名前

1 次のことがらについて、同様に確からしいといえるものを選びなさい。

- (1) 1 から 5 までの数字が 1 つずつ書かれた 5 枚のカードをよくきって、その中から 1 枚を引くとき、それぞれの数字のカードが引かれること。
- (2) 投げ上げた片方のくつが床に落ちるとき、くつの底が下を向くことと上を向くこと。
- (3) A, B, C の 3 人から抽選^{ちゆうせん}で 1 人を選ぶとき、3 人のそれぞれが選ばれること。

(1), (3)

2 ジョーカーを除く 52 枚のトランプをよくきって、その中から 1 枚を引くとき、そのカードが 1 から 10 までのカードである確率を、次の手順で求めなさい。

- (1) 起こりうるすべての場合は何通りですか。また、そのどれが起こることも同様に確からしいといえますか。

52通り いえる

- (2) 1 から 10 までのカードである場合は何通りですか。

40通り

- (3) 1 から 10 までのカードである確率を求めなさい。

$$\frac{40}{52} = \frac{10}{13} \quad \text{答} \quad \frac{10}{13}$$

3 A, B, C, D の 4 人がリレーで走る順番を、くじ引きで決めることにしました。

次の問いに答えなさい。

- (1) 走る順番は全部で何通りありますか。

A が第 1 走者のとき、

A-B-C-D, A-B-D-C, A-C-B-D,

A-C-D-B, A-D-B-C, A-D-C-B

の 6 通りで、同様に、B, C, D が第 1 走者のときもそれぞれ 6 通りずつある。

したがって、

$$6 \times 4 = 24 (\text{通り})$$

答 24通り

- (2) A が第 1 走者になる確率を求めなさい。

$$\frac{6}{24} = \frac{1}{4} \quad \text{答} \quad \frac{1}{4}$$

- (3) A が第 1 走者で、B がアンカー(第 4 走者)になる確率を求めなさい。

A が第 1 走者で、B がアンカーになるのは 2 通りだから、

$$\frac{2}{24} = \frac{1}{12} \quad \text{答} \quad \frac{1}{12}$$

- 4 ふくろ 袋の中に同じ大きさの玉が4個入っていて、それらには1から4までの数字が1つずつ書いてあります。この袋の中から玉を1個取り出して、その玉に書かれた数字を x とします。次に玉を袋に戻し、2回目に取り出した玉の数字を y とします。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) $x=y$ である確率を求めなさい。

x と y の組み合わせを (x, y) で表すと、起こりうるすべての場合は、

$(1, 1), (1, 2), (1, 3), (1, 4), (2, 1), (2, 2), (2, 3), (2, 4)$

$(3, 1), (3, 2), (3, 3), (3, 4), (4, 1), (4, 2), (4, 3), (4, 4)$

の16通りあり、そのどれが起こることも同様に確からしい。

$x=y$ となるのは4通りあるから、

$$\frac{4}{16} = \frac{1}{4} \quad \text{答} \quad \frac{1}{4}$$

- (2) $x>y$ である確率を求めなさい。

$x>y$ となるのは、

$(2, 1), (3, 1), (3, 2), (4, 1), (4, 2), (4, 3)$

の6通りあるから、

$$\frac{6}{16} = \frac{3}{8} \quad \text{答} \quad \frac{3}{8}$$

- (3) $x+y \geq 7$ である確率を求めなさい。

$x+y \geq 7$ となるのは、

$(3, 4), (4, 3), (4, 4)$

の3通りあるから、

$$\frac{3}{16} \quad \text{答} \quad \frac{3}{16}$$

- 5 A, B, C, D, Eの文字が1つずつ書かれた5枚のカードを裏にして並べて、その中から3枚を選ぶとき、次の問いに答えなさい。

- (1) Aのカードが選ばれる確率を求めなさい。

3枚のカードの選び方は、

A-B-C, A-B-D, A-B-E, A-C-D, A-C-E, A-D-E

B-C-D, B-C-E, B-D-E, C-D-E

の10通りあり、そのどれが起こることも同様に確からしい。

Aのカードが選ばれるのは6通りあるから、

$$\frac{6}{10} = \frac{3}{5} \quad \text{答} \quad \frac{3}{5}$$

- (2) AとBのカードがともに選ばれる確率を求めなさい。

AとBのカードがともに選ばれるのは、

A-B-C, A-B-D, A-B-E

の3通りあるから、

$$\frac{3}{10} \quad \text{答} \quad \frac{3}{10}$$

- (3) Aは選ばれるがBは選ばれない確率を求めなさい。

Aが選ばれBが選ばれないのは、

A-C-D, A-C-E, A-D-E

の3通りあるから、

$$\frac{3}{10} \quad \text{答} \quad \frac{3}{10}$$

6 A, B, C, Dの4人が順番に1枚の硬貨を投げます。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 起こりうるすべての場合は何通りですか。

表を○、裏を×で表すと、

$(A, B, C, D) = (\bigcirc, \bigcirc, \bigcirc, \bigcirc),$

$(\bigcirc, \bigcirc, \bigcirc, \times), (\bigcirc, \bigcirc, \times, \bigcirc), (\bigcirc, \times, \bigcirc, \bigcirc), (\times, \bigcirc, \bigcirc, \bigcirc)$

$(\bigcirc, \bigcirc, \times, \times), (\bigcirc, \times, \bigcirc, \times), (\bigcirc, \times, \times, \bigcirc), (\times, \bigcirc, \bigcirc, \times), (\times, \bigcirc, \times, \bigcirc), (\times, \times, \bigcirc, \bigcirc)$

$(\bigcirc, \times, \times, \times), (\times, \bigcirc, \times, \times), (\times, \times, \bigcirc, \times), (\times, \times, \times, \bigcirc)$

$(\times, \times, \times, \times)$

の16通りあり、そのどれが起こることも同様に確からしい。

答 16通り

(2) 4人とも表になる確率を求めなさい。

4人とも表になるのは1通りあるから、

$$\frac{1}{16}$$

答 $\frac{1}{16}$

(3) 1人だけが裏になる確率を求めなさい。

1人だけ裏になるのは、

$(A, B, C, D) = (\bigcirc, \bigcirc, \bigcirc, \times), (\bigcirc, \bigcirc, \times, \bigcirc), (\bigcirc, \times, \bigcirc, \bigcirc), (\times, \bigcirc, \bigcirc, \bigcirc)$

の4通りあるから、

$$\frac{4}{16} = \frac{1}{4}$$

答 $\frac{1}{4}$

(4) 少なくとも1人が表になる確率を求めなさい。

4人とも裏になる確率は $\frac{1}{16}$ だから、

$$1 - \frac{1}{16} = \frac{15}{16}$$

答 $\frac{15}{16}$